

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-531904(P2004-531904A)

【公表日】平成16年10月14日(2004.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2004-040

【出願番号】特願2003-509207(P2003-509207)

【国際特許分類】

H 01 S 5/20 (2006.01)

H 01 S 5/343 (2006.01)

H 01 S 5/50 (2006.01)

G 02 B 6/122 (2006.01)

【F I】

H 01 S 5/20

H 01 S 5/343

H 01 S 5/50 6 1 0

G 02 B 6/12 B

G 02 B 6/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月21日(2005.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

受動イントラキャビティーパ型導波路に光学的に結合された10 μmより大きい開口幅を有するレーザダイオードチップを含むレーザ。

【請求項2】

前記レーザが単一横モードを形成するように構成される、請求項1に記載のレーザ。

【請求項3】

前記導波路がII-VI族化合物半導体材料を含む結晶材料、またはガラスから選択される材料を含む、請求項1に記載のレーザ。

【請求項4】

前記レーザダイオードチップが、レーザダイオードチップおよび導波路の界面にあるその面に反射防止コーティングを含む、請求項1に記載のレーザ。

【請求項5】

前記導波路の長さが0.5cm以上である、請求項1に記載のレーザ。

【請求項6】

請求項1に記載のレーザを含む光増幅器であり、希土類金属がドープされている光増幅器。